

# 来週の「売り物」記事はこれ



2011年3月18日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 希望新聞

## 22日から

未曾有の被害を出した東日本大震災。今も家族を探す人たち、寒い避難所でおにぎり一個を分け合う人たちがたくさんいます。被災者の安否情報や被災地への励ましのメッセージ、ライフラインの復旧状況など満載した、未来につながる情報を毎日、お届けします。

### 東日本大震災 暮らしどうなる？ くらしナビA面 不定期連載

携帯電話が繋がらない、停電で電車が滞る、ガソリンが足りない……。東日本大震災は思わぬ被害を各地にもたらしました。こんな時こそ、慌てず過ごしたいものです。さまざまな不便が生じる背景と、ピンチにめげない暮らしの知恵をお伝えします。



### 大型シリーズ 東日本大震災 日本よ！

### この国はどこへ行こうとしているのか

### 夕刊特集ワイド面 随時掲載

1000年に1度という巨大地震が、東北を中心とする東日本全域を襲いました。地上に繰り広げられた筆舌に尽くしがたい悲劇の数々。原発の事故で露呈した「安全神話の崩壊」……。経済的な凋落傾向と政治的な混迷を背景に、日本全体が閉塞感に覆われているなか、今回の大震災は日本の社会のありようも根底から変えようとしています。そして、この悲しみを、私たちはどう受け止めればいいのでしょうか。日本の「知性」を代表する作家、批評家の話にじっくり耳を傾けました。

秋山駿さん、梁石日さん、金子兜太さん、柳田邦男さん、保阪正康さんらが登場します。



## 東日本大震災 「私が愛した日本よ……」

楊逸、ピーター・バラカン、ダニエル・カール

夕刊特集ワイド面 24日(木)

沈鬱な空気がこの列島を覆っています。1万人を超える人たちの命が一瞬にして失われた東日本大震災。続いて発生した未曾有の原発事故は、いまだに「負の連鎖」から抜け出せず、見えない恐怖が広がろうとして



ています。私たちが愛したこの国土はいつたいどうなってしまふのか……。この気持ちは、日本にひかれて極東の地に居を定めた外国人も同じようです。同時に、日本人に限りない「希望」を見出しています。芥川賞作家の楊逸さん=写真左、キャスターのピーター・バラカンさん=同中、東北弁を操るタレントのダニエル・カールさん=同右=も同じです。「日本の人たちは、必ず立ち上がります」。

“読者の心に寄り添う”がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。